11月4日 金曜日 3日発行

昭和30年 西暦1955年

内外タイムス

THE NAIGAI TIMES

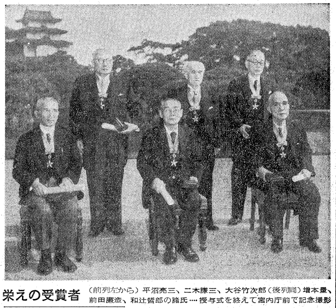
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話 代表 京橋(56)8646番
直通 販売(〃)9437 広告(〃)3995
編集局 港区芝金杉川口町13
電話 代表 三田(45)8136番
振替貯金口座 東京170071番

第3268号 （昭和24年6月27日 第三種郵便物認可・昭和24年5月27日 国鉄特別扱承認 第232号）
（中華郵政台字第637号執照登記為第2類新聞紙類・内政内鎖証稿簡內台警字第0136号）

☀天気予報

今晩 北の風、ときどき曇り
明日 北の風晴れたり曇ったり

あすの暦 11月4日(金) 旧 9月20日
月齢 19.3
日出 前6.05
日入 後4.44
月出 後8.27
月入 前10.09
満潮 前8.30 後7.00
干潮 前1.20 後1.35
（中潮）



栄えの受賞者 （前列左から）平沼亮三、二木謙三、大谷竹次郎（後列同）増本量、前田廉造、和辻哲郎の諸氏…授与式を終えて宮内庁前で記念撮影

文化勲章 けさ宮中で授与式

文化の日の三日、皇居では午前十一時表西の間で天皇陛下が出席され、首相代理の松村文相から文化勲章受賞者大谷竹次郎（演劇）平沼亮三（体育）二木謙三（医学）前田廉造（＝青邨、日本画）増本量（金属学）和辻哲郎（倫理学）の六氏（稀音家浄観氏は不参のため文部省から伝達）にたいしそれぞれ文化勲章を授ける授与式が行われた。ついで天皇陛下は正午から、むらさきの綬にたちばなの文化勲章をクビにかけた六氏を中心に三笠宮さま、松村文相も招き、表一の間で昼食会を催し優待されたが、終って陛下は表三の間で各受賞者から専門の研究談や芸談などを興味深くお聞きになり、文化のためにますます努力してもらいたいと激励された。

ノーベル物理学賞の受賞理由

【ストックホルム二日発ロイター＝共同】本年度ノーベル物理学賞を受けたラム教授とクシュ教授の受賞理由はつぎのとおり。
△ラム教授＝水素スペクトルの細かい構造にかんする発見。
△クシュ教授＝電子の磁力運動の精度の測定。

重光外相が専任

分担金交渉 来週から本格化

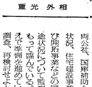
【鎌倉発】砂田防衛庁長官は三日午前九時半鎌倉の別邸に鳩山首相を訪問、三十一年度防衛庁予算について報告するとともに国防省の設置問題および防衛分担金の折衝方針などについて約三十分協議した。砂田長官は

一、国防省の設置は防衛問題の重要性からぜひ三十一年度から実施したい。このため関係法案は次の通常国会に提出する。

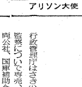
一、防衛分担金の日米折衝はいままで外務、大蔵、防衛の三相が当っていたが、交渉を円滑に進めるため三十一年度の分担金交渉は重光外相一本で進む。

などについて意見を述べた。これに対し首相は了承したので来週中にも開始される防衛分担金削減交渉には重光外相だけが当ることになった。

なお、重光外相も同十時首相を訪ね、二日午後のアリソン米大使との会談について報告するとともに分担金交渉は外相の手で来週から本格的に進めるむねの了承を得た。



重光外相



アリソン大使

削減目標百十億円

政府は近く明年度予算編成に関連して日米防衛分担金交渉を始める意向であるが、重光外相は二日午後三時半米大使館でアリソン米大使と会見、分担金の削減について米当局の協力を求め、今後の折衝についての意見を交換した。

防衛分担金の削減問題についてはすでに外務、大蔵、防衛の関係事務当局の間で日本側の折衝方針について協議を進め、先月二十六日の重光外相と砂田防衛庁長官の協議で一応政府の方針は意見の一致をみている。日本側の基本線はおよそ次のようなものであり、二日の会談でも重光外相はアリソン大使に対しこの立場から話合いを行なったもようである。

一、行政協定の取決めに基づく分担金五百五十八億円（一億九千五百万ドル）を交渉の基礎とせず、今年度の分担金約三百八十億円（一億五百四十万ドル）を出発点とする。

二、削減要求額は三十一年度防衛庁費の増勢分約二百十九億円の半分百十億円とする。

三、明後年度（三十二年）以降の交渉についてもこの方式を一般方式として適用する。

社会春秋

昭和五十年の日本 武藤貞一

日本の人口が現在増加を見つつあるのは、乳幼児と老人の死亡率が低くなったためで、それ以外に原因はない。肝心の出生率そのものは驚くべき勢いで減少過程をたどりつつあるのだ。

医薬の進歩によって死ぬべき老人が死ななくなったといっても、これは老人を一時的に『老齢』というダムに詰め込んでおくようなもので、ある時期（五、六年後？）が来ると、一時に切って落されるから、ここ十年も経つと、不自然な『老人過多による人口増加』という原因は除去されるだろう。

一方生まない女から生れる女がますます生まなくなるとすれば、今から二十年後の日本は、世界に珍しい人口減少国と変ってゆく。現在すでに出生率の著減は歴然と数字が示すところであり、いまどき、日本の人口の増加を憂えるなどは時代錯誤も甚だしい。心あるものだったら二十年先に当然起って来る現象について憂うべきである。

神さまは、一つの種族に『滅亡』を宣告するときは、必ず『堕胎』を教える。堕胎は一たびこれを教えられると、これほど薬で簡単な仕事はないので、みんながやらなければ損のようにやり出す。現に子供など馬鹿馬鹿しくて生めるか、何の粋興で育てるかという考えが、この国の男女に浸透してしまったから、いわゆる産児制限は怒濤の勢いで氾濫した。どこの産婦人科も助産婦も不景気知らずの盛況を示しているのは、いうまでもなく堕胎の普及徹底によるものである。かくして子供はよほどの贅沢品と化しつつある。

占領憲法の男女同権で、女は男に服従しては食ってゆけなくなり、独立の生活設計を用意するためには、まず第一に生まないことから考えてゆかねばならず、また家族制度の破壊によって、親が老後に子供に扶養される望みは断たれたから、苦心して子を育てることは無意義となった。親孝行は憲法違反で、子供はただ親の性的享楽の犠牲として生み出されたに過ぎないと子供自身が割切っている。出生率の激減は当然のことである。

そこで、十年後からこの結論が漸次数字の上に現われ、二十年後には、ハッキリと人口減少国の実態が露呈することとなろう。そうなれば、日本国中に幼少年の姿はまばらになって、年老いた者たちが青少年のやるべき仕事を引受けねばならなくなる。いま育ちつつある青少年はうと後になってひどく苦労すると思うと気の毒である。

学校は不朽のコンクリート建築をする必要がない。いずれ先には半分以上廃屋になってしまうだろう。会社は青年新社員を求めるのに必死の争奪を演ずるだろう。何もかも様相は変ってくる。入学難も就職難も解消し、

徳川治世は、救貧事業として産児制限をやった。一方家族制度の強化で種族保存策にも力を入れた。それで三百年間人口はトントンでいった。日本の今日の場合とは大いに違うことを考えねばならない。

〝お定まり〟〝実弾戦〟か

早くも〝不発弾〟散発

〝政界浄化〟で防戦の自由党

保守合同は焦点の党首問題をめぐって最大のヤマ場に入った。相撲なら右相四ツといったところ。双方ともガップリ組んだまま、身動きのとれぬ場面である。しかしいつまでも四ツに組みっぱなしというわけにはいかない。だから最後のドタン場では〝黄白乱れとぶ〟場面になりかねないわけだ。すでに〝小ゼニ〟は舞台ウラでさかんに乱舞している。選挙区帰りのみやげ代としてナニガシかを包むとか、赤坂あたりの紅灯の巷での談合費を出すとか、とにかく〝消耗強力〟が表看板の保守合同のウラ街道を『黄白』がまかり通っていることは事実らしい。

しかしこの程度の〝カネ〟は政界に多少動きがあれば珍らしいことではない。『来年の参院選挙資金というが、選挙のカネなんか両方から貰うのが当り前で、ネコババをきめればいいんだ』と強がりをいっている自由党首脳もあるくらいだ。それよりもこれからが問題である。

○…三木武吉老が一日、根本官房長官に『名案ではないが、アラ仕事をせにゃならんだろう』といったことは、黄白合戦の前夜にきていることを暗示していると取れぬこともない。第一、岸幹事長が鳩山首相に『万一公選ということになれば、買収、供応なんでもやって見せる』といったというウワサさえあるくらいだ。『民主党結党工作のときには苦労した。しかし今度はラクだ。いくらでも集める自信がある』と岸氏はウソぶいているが『一人に三百万円ずつ百人にやっても三億だ』ともいっているのは供応、切りとり、自由自在という確信を物語っているとも見られよう。

○…河野農相にしても同じである。『一農相にどれだけ金が集められるか』という一部の批判も〝分〟としても相当なものだという

あるが、自由党の連中は『河野農相は訪米前に業者に五千万円割りあてた』とか『カンヅメや自動車とか油、羊毛などで三億ぐらいは手に入れたらしい』などとさかんにいいふらしている。〝ウワサ半分〟としても相当なものだという

のが一般の観測でもある。

○…ところがミジメなのは自由党である。昨年とは地位が逆転し、軍資金は思うにまかせぬらしい。だから池田、佐藤氏ら吉田派は党内とりまとめのために〝カネでの切りとりはやめよう〟と申合せ、政界浄化運動を盛りあげて民主党の黄白攻勢を反撃する作戦をたてている。もっとも佐藤氏の場合は、疑獄事件の結末がつかぬこともあろうが、とにかく自粛作戦に出ていることは事実である。だから緒方総裁も過日の両院議員総会で『相手がカネで切崩しに出れば、自由党は準備会から引揚げる』とぶったわけである。

○…しかし民主党が積極的な黄白攻勢に出れば〝自粛だ〟などといっておれないのが政界の現状。自由党も〝黄白のウズ〟にまきこまれる恐れは十分にある。この点が自由党首脳の頭の痛いところらしい。ただ民主党にしても〝消耗強力〟の手前、余ほどの窮地でなければ積極的な黄白合戦に出られないわけでもある。

○…何れにしても合同問題は〝勝負〟の段階に入った。引こうとしたって引けるものではない。ここ数日が最大のヤマであることは間違いない。（K）

公企体の監察強化

行管 法的措置を急ぐ

行政管理庁はさきの国鉄監察について専売、電々両公社、国庫補助金使用状況、住宅建設事業および開拓事業などの国費使途状況について監察を進めている。とくに公共企業体については組織、運営についてとかく批判の声があるだけに徹底調査の方針をもって臨んでいる。このため森行管政務次官など庁内幹部は監察権を強化するために、通常国会に管理庁設置法改正案を提出する考えで準備を進めている。閣内でも河野農相、根本官房長官らは現在の公企体の組織そのものに欠陥があるのだから、あらゆる面から調査、再検討せよとの強硬な意見をもっている。行政監察の現状は大要つぎのようなものである。







㊤川島長官 ㊥河野農相 ㊦根本官房長官

国鉄 国鉄側は三木運輸相が機構再検討を、また十河総裁が外郭団体の整理を表明するなど、一部行管の意見をとりいれてはいるが減価償却、耐用年数などについては暴論だときめつけ、あくまで行管を納得させ、運賃二割値上げまでもっていこうとしている。一方行管では監察結果にもとづいて川島長官から三木運輸相あて正式に勧告するため監察官会議を重ねている。こんどこの問題がどう発展するか両者ともひっこみがつかなくなっているだけに注目される。

専売公社 公社重点監察の一環として八月から十月までの三ヵ月間、監察が行われ、現在監察結果整理の最終段階に入っている。これは国鉄の場合と違って、総合調査ではなくタバコ、塩、しょうのうなど専売品の輸送費だけを対象としており、さほど大がかりなものではない。

電々公社 この十月からはじめられた総合調査は松田郵政相の要請によるもので結論の出るのは来年に入ってからになろう。電々も国鉄に次ぐ大世帯で外郭団体の数も相当みこまれているので、効果ある監察結果が出てくるものと予想されている。

補助金使用状況 中間的傾向として❶補助金の種類が多すぎ、かつ零細なため十分効果が上っていない❷地方財政を圧迫する結果となっている❸配分が総花的になっているため重点的に補助することが不可能である、などの点が明らかにされている。

その他＝現在手がけているものは住宅建設事業、開拓事業、各省庁費の使用状況であるが、これらも近く閣議報告、関係各閣僚への勧告が行われる手はずである。

仏政府、信任獲得

総選挙繰上げ法案で

【パリ二日発ロイター＝共同】フランス国民議会は三日午前二時十五分（日本時間同日午前十時十五分）総選挙繰上げ実施法案に関する政府信任投票を開始した。

【パリ二日発UP＝共同】仏国民議会におけるフォール内閣信任投票の正式結果次の通り。
▽信任三百三十票▽不信任二百十一票。

ソ連首脳月末訪印

【モスクワ二日発AP＝共同】ブルガーニン・ソ連首相とフルシチョフ・ソ連共産党第一書記は十一月末モスクワを出発インド、ビルマを訪問し帰途アフガニスタンにも立寄る予定。

ないがい川柳 吉田柿司選

千代契る祝詞一段声を張り　横浜 市野三七
貞操を大事にしすぎて売れ残り　城東 法界坊
バスガイド歌手の知らない唄も知り　千代田 南渡波
恋人の笑顔が浮かぶ毛糸玉　新潟 伊藤蘇子
終電車大きくあくびして降りる　市川 川端火呂志
記事になる恋は命を粗末にし　福島 佐々木正文
終電車降りて女給は母の足　北 松本いろは

粋人酔筆



Yさんの結婚

世は正に結婚シーズンで、日本の何処かで四十五秒に一人の新妻が生れているという。ジュネーヴの四ヵ国外相会議より世界中の話題をさらった美しいマーガレット王女の可憐な恋の結末が、王女の声明書ではっきりすると、わが事のようにほっとしたりがっかりしたのもこの結婚シーズン中のことである。

〝三十娘〟の私にさえ、秋ともなれば仲人の依頼があるけれど、自分の頭のハエさえ追えない私が、結婚のお世話の成功するはずもなく、いくらやきもきしても、私のお節介する縁談はなかなかまとまらない。

ところがこの私がただ一度だけ、立派に仲人役を果して、挙式当日新郎新婦から涙あふれる感謝を受けたことがある。

川開きの夜、両国に近い私の店へ三年来の恋人A子を招いて、私に紹介したいと、Yが申出た。

A子の現れる時刻に店の前でうろうろ待ちかねていたYは、気の毒なことに腹痛を訴え同僚のKに、『とても丸顔で可愛らしいのです。すぐチャーミングですからすぐ判ります。僕の代りに迎えてやって下さい』と依頼して用を達しに行った。

帰って来たYがKや私の前に憤然と、『あんなにお願いして置いたのに、A子さんはうろうろして悲しんだそうですね』となじる傍に、なるほど先刻から人待ち顔に娘さんが立っていた。

余りに〝可愛らしい〟を強調されたKや私は、その娘さんとは想像もしていなかったので、声をかけなかったので、彼を怒らせてしまったわけである。

その後両人に頼まれてA子さんの実家へ、A子さんをYの伴侶としていただきたいと申込みに行った私は、A子さんの母からケンもほろろに、

『サラリーマンにはやりたくありません。商家の私共はA子を商家へ嫁入らせたいから』とにべもなく拒絶された。

一度でこりごりした私も、たって恋人達に頼まれて再び実家に足をはこび、Yがいかに心優しく有望な青年であるかを何回かくり返した。



何度目かの私の訪問の際、A子嬢の母堂は『結婚は先ゆきのこととして、それでは二人の交際だけは認めましょう。但し弟や妹もいて、その影響もあることですから、必ずあなたがお友達と同伴で家へ遊びに来るようにして下さい』と条件付で交際が許された。

私はA子さん達両人の交際が公認されたのは結婚への第一歩だから、不満があっても、平身低頭した私の顔をたてて、実家の母親の希望どおりに行動するようにくどくど二人に話した。

二、三ヵ月は私に一緒に行って呉れと二人からは頼まれずに過ぎたが、またオールド・ミスの私があまり人の恋愛のお節介をするのも変だと思って、そのままにしておいた。すると或る日私はA子さんの実家から呼びつけられ、

『あなたにあれ程お願いして置いたのにYさんは、家へたった一人でやって来てA子と何かひそひそ話ばかりして帰りますので、店の者やA子の弟や妹の手前、本当に困ります。今後もずっとYさん一人で遊びに来るようなら、これまでとお考え下さい』と厳重なおしかりを受けた。

私がYにこのことを話して『困るじゃないの、あんなに頼んで置いたのに』と抗議すると『僕はあなたのいいつけ通り誰かと一緒に遊びに行きたいのですが、A子さんが猫の子一匹いても邪魔だといって、いやがるので』と平然としていた。

私が成行きにまかせるように決心しかけた頃、突然A子さんの母の来訪を受けた。ところが今までとうって変って、それは丁寧に、『是非A子をYさんのような立派な青年に貰って頂きたい』と挨拶された上、Yの両親の承諾を受けてくれるよう依頼された。

事の意外な進展にびっくりした私は、両人の結婚直後A子さんにその訳を問いたが、私の常識より遥かに早くママになる条件の出来たことは、A子さんはいわなかった。

大山瑛子

地獄耳

右だ左だとの

中共から帰った津久井龍雄氏の歓迎会がこのほど小石川涵徳亭で開かれた。各界発起人四百六十二人とはチョッと驚かされる芦田均、安井誠一郎松永東、松岡駒吉ら多くの人達が、激励やら歓迎やらの弁を一席ずつブッた。

芦田氏は『私は戦前自由主義者として、むしろ左傾扱いされていた。この節は再軍備論者として右傾扱いです。私自身は右も左もなくチャンとした位置におるのですが、世の中が、右に左に傾き、動揺常ないのだろう』

松岡駒吉氏は『どうも日本人の中には、右がかった人は頭から〝保守反動〟とヤッつけ、左がかった人は、一も二もなく〝アイツは赤だ〟とカンタンに激しくヤッつける癖がある右といい、左というも話して見れば案外常識人が多い。等しく国を思う者はフェアプレーで行きたい』と隣席にいた同選挙区の菊池義郎氏の顔を横眼でジロリ。松岡氏はこの種会合によく顔を見せ勉強なさる御仁のようだ。

極端論なげく

内外抄

文化の日に、輝く勲章を受ける人々は尊し。街の善行者として表彰される市民もまた尊し。
◇
対ソ交渉を超党派で行なってほしいと松本全権。これをとっておきのネタにするつもりなのに。
◇
猿右衛門、やっと腰をあげて帰国の途へ。舞台度胸ほどの度胸があればとっくに帰れたものを。
◇
護憲運動グループもいよいよ中共へ招かれて行く。帰りの節『土産代』にお気をつけなすって。
◇
行楽によく、夜は灯火親しむべきシーズン。テレビ、ラジオから読書へと切換えの好機。

青春無宿 (177)

大林清 作
下高原健二 画

転落の道（四）

『母に二、三時間といって出て来ましたので、あんまりおそくなると心配すると思います』

たった三時間という木島の言葉を信用したからこそ、会いたくもない大渕の事務所へ来たのである。その意味をこめてなじるようにいうと、

『お母さんならわたしが帰ってよく話すから心配しないでもいいよ。先生のお伴をして伊東へ行って、ゆっくり湯にでもはいって来たらいいじゃないか』

どうやら、大渕が伊東へ誘うのを、はじめから知っていた木島の口ぶりだった。

『でも、困りますから……』

光代はしりごみした。次第によってはそのまま二人の前からある

き出してしまうつもりだった。

『嫌かね、嫌なものは無理にすすめんよ。だが、今日は話が急だから困るというんで、お母さんを伊東で静養させることに不賛成じゃないんだろう。まァ今のうち親孝行をしておくもんだ、お母さんだってそりゃァ喜ぶと思うね』

大渕は鷹揚を装いながら、必要な石はぬかりなく打って来るのだ。

光代はまたしても、大渕の申し出を拒む場合に起ることを考えてみた。それは病気の母とアル中の養父をかかえて路頭に迷うことだった。

『ありがたいことじゃないか、お前さんにはやっと運が向いて来たんだよ。願ってもないそんな果報を逃がすほど、お前さんも馬鹿じゃないだろう』

木島は大渕と肚を合せて、ここぞとばかり責め立てる。

光代は断崖の際まで追いつめられた想いだった。眼をつぶってそこから身を投じようとした菅野との場合が思い出された。同じことなのだ、いっそ…と、足もとのゆらぐ動揺をおぼえた。が、辛うじてそれを踏みこらえると、

『今日は帰らなければなりませんの、よく考えて御返事いたします』

『そんな悠長なことをいっている時じゃ…』

木島が顔をしかめて云いかけたのを、

『木島君、そうせいちゃァいかんよ』

と思いがけなく大渕は遮った。

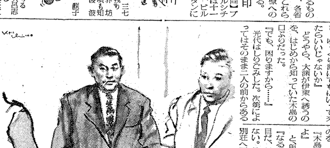
『なるほどこの人とは今日が二度目だ、わしを信用せんのも無理はない。こうしよう、今日は伊東の別荘へ下見に案内するつもりだったが、それは取りやめにする。その代り、明日にでも当座必要な金を届けようじゃないか、わしが行かれなければ誰かに届けさせる、二十万もあればいいだろう、むろん現金でだ』

『それはもうそうしていただければ、当人も親たちも安心です。なァ光代さん』

木島は自分がその金をもらいでもするように相好を崩した。

『小切手なら今でもいいが、小切手は芳しくない前例があるからな。まァ明日二十万届けたら、今までの不義理はきれいにして、早速お母さんを伊東へやるといい。こっちの部屋は今までどおりにしておいてもかまわないが、光代君はしばらくお母さんの付添いで別荘へ行っていた方がよかろう。今日はこれだけにして、そこまで車で送るよ』

大渕は独りで勝手に決め、木島にタクシーを拾うよう命じた。





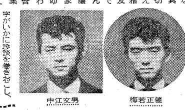
第二次審査場風景、10人ひと束でまず場内を一回り、顔みせ



推せん 5.145名
採用 13名

大映推せん制ニューフェイス・コンテスト悲喜劇の裏ばなし

映画界のニューフェイス募集は落葉恒例の行事になりつつあるが、あたりまえの募集方法では応募者のアタマカズはふえても[illegible]……に珍談を巻きおこし、[illegible]んだか判らないといったところでこの"推薦"と[illegible]んだ話題の数々を拾ってみた。


中江文男　梅若正義　袋野元臣

作家、代議士推薦リレー
母も懸命、リンゴどっさりつけ届け

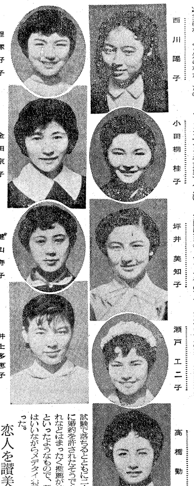
▽…[illegible]

てね、とにかく熱心なんだよ。自由党の村上代議士の紹介で来たのだけど、本人より母親が一生懸命で、ぼくの家へリンゴやナシを送ってくれるわけなんだ。あいにくぼくの家は子供が多いからその果物はまたたく間にパクパクとかたづいてしまう。そのころになるとまたうまくリンゴやナシを頂戴するといった具合で、いつか推薦するぼくが真剣に考えだしたわけなんだ。もっとも正直にいえば、リンゴやナシに責任を感じたというわけなのだがね。それにしても合格しないとこりゃ申訳ないわいと思い出したので、つくづく彼の顔やスタイルなどをあらためて見なおした次第なんで、実際に実力でパスしたものですよ』

というのが作家の中山正男氏であり、リンゴ青年は袋野元臣君なのである。

梅若宗家の孫　正義君も入選

▽…また十九才で見事合格してあこがれのスター街道にふみ出した梅若正義君は、能の梅若流宗家先代万三郎の孫で、梅若猶義(神戸在住)の息子という変り種だが、彼が東京に出れば下宿するという根岸の大塚宅でもこの合格通知にはビックリ『ヘエー、あの正義さんが映画俳優にねえ、驚きました。でもとっても美少年でしたからもっともだとは思いますが…』といっていた。つまりこんどの推薦スター合格者は自他共に許す優秀者であることはうなずけるものである。


西川陽子　程塚好子　小田桐桂子　金田京子　坪井美知子　鍵山寿子　瀬戸エニ子　井上多恵子　高橋勤子

オール落弟、広島の48名
長谷川一夫推薦もダメ

▽…応募総数が五千百四十九名のうち、男は三千百四十七名で女は二千二名だった。つまりパーセンテージにすれば六一・一％対三八・九％で男の数が断然多かったのである。これについて審査員の大映松山常務は『男に優秀な者が多かった、いつもの募集ならば二十名以上の合格者があったようなところだろう、それだけにこんどの人はスターになれる素質は十分だ』とタイコ判を押すとともに不合格者にも優秀者が多勢いたことを強調する。

▽…もっとも推薦者のなかには一人で二十名からの候補者を押した薄利多売式の名士もいるから欲ばった話だ。例えば伊勢商工会議所会頭は男女取混ぜて二十名を推薦してくるし、宇和島の会頭は七名、平市長が十一名、三原市長六名、岐阜市長四名、釜石市長三名といった"一ダースなら安くなる"の口が随分あった。しかしこれらは全部落第組で、かえってうらみっこなしでよかったのだろうというわけである。また広島市の観光協会長は一度に四十八名推薦してきている。しかもこの一人一人に名文をつけ解説付のガイド調だったという。『色は白くて、鼻すじ通り、愛敬口元こぼるばかり』てな調子だったそうだが、あわれ四十八名は見事に落選してしまった。時しも赤穂浪士が吉良邸に打入る十二月十四日が間近いとなればとんだ忠臣蔵だが、二ヵ月も前とあっては四十八士も効果はなかったということである。

▽…文化人からの推薦候補にも落第組は多かった。映画界では長谷川一夫、三益愛子、益田キートン、坪内美詠子など、作家の源氏鶏太、村松梢風、今日出海、画家には岩田専太郎、志村立美、舞踊界から石井漠、その他伊藤道郎、菅原通済、熊谷久虎、田中重雄などに相撲の元名寄岩まで推薦してきていたのである。しかしこれらは全部落ちてしまったが、そのなかの一人益田キートンは『残念でしたね、落ちるのが判ってれば推薦なんかしないですが、気の毒でしたよ』といかにも残念そうだが、その後では『いっそアタシがされる立場になったら合格したかもしれませんよ、とにかく二枚目が欲しいというのだから…』といってニヤリ、やはりする方とされる方では、落選しても同じガックリでもガックリの仕方が違うわけだろう。

"落ちた二人"が婚約
映画狂、高校時代の友達

▽…埼玉県の岡田実君(二二)=仮名=はこの推薦募集を知ってから何とか応募したいと考えた、ところがいままでのニューフェイスとは違って、自分が履歴書を書き申込むというわけにはいかない。市役所に勤めている父親は前続二十年の石部金吉で映画俳優などはもってのほかという反対だ。そこで彼は同じように映画狂である高校時代の友達北村葉子さん(二〇)=仮名=をさそって、彼が彼女の推薦状を書き、彼女が彼のものを書くという相互援助の方法を取った。もちろんだれの推薦でもいいのだから会社は受付けたわけだが、さて第一次の写真審査の結果、岡田君が落ちて葉子さんの方が第二次に入ったから世の中は皮肉なものだ。十月十九日の二次試験には彼女に付添って彼も東京に出てきてしまったが、その時に親父さんのサイフから無断で二千円余りを抜いてしまったのが悪かった。試験が終り、ついでに浅草で映画を見てなどといっているうちに帰る汽車がなくなってしまったのだ。仕方なくお定まりの旅館へということになり、若い男女のことだ、何となく、何となないことになってしまったという話である。もちろん家へ帰ってからは大いに叱かられどなられたろうが、彼女が第二次試験で落ちるとともに二人は正式に婚約を許されたそうである。これなどはまったく推薦が結んだ縁といったようなもので、落第組とはいいながらメデタイお話ではあったことだけであった。

恋人を讃美?
泣かせる迷文推薦状

▽…兄が妹を推薦し、妹が姉を押すなどというものも多かったようだ。その文中にはいろいろ傑作な迷文も混っていたが、青年が自分の恋人をほめたたえ、讃美したラヴレターもどきのものがあったのにはこの担当者もネを上げざるを得なかった。

『多美子さんは我が町でも圧倒的な美人です。そのためには彼女の家る店へ日に三度も四度もタバコを買いに行く青年は数知れません(彼女はタバコ屋の娘らしいのである)そのたびにニッコリ笑って出すタバコは、それがバットであろうと新生であろうと僕にはピースに見え洋モクに見えるのです(彼は専売局勤務かもしれません)それで僕は多美子さんを推薦します。彼女は絶対美人です』

といった名文だったそうだ。もちろん彼女は写真審査でボツになってしまった。バットはまだ世界的水準には程遠かったというわけのものだったのである。

▽…友人をコーヒーとケーキで釣って推薦状を書かせた青年もいた。これは本人の話である。

『僕は是非映画界に入りたかったのです、それで友人にお茶とお菓子をおごって推薦状を書かせたのですが結局駄目でした。この上は何としてでもどこかの会社へ入りますよ』

といっていたが、案の定去る十六日の綜芸プロダクションの研究生募集試験に顔を出していた。こっちは研究生の時は月謝も取るし、五千人で十人などという狭き門ではないから何とか合格したらしい。大映の入所式と同じ去る一日には嬉々として綜芸プロ入所式に参加していたということである。結局これでいつの世にも変らぬのは"アコガレは銀幕へ"という若い世代の相言葉をしみじみと感じたことだけであった。


上審査員の顔の真中に三益愛子、その向うに根上淳の顔もみえる　下大映東京撮影所(審査場)の受付にみる混雑

虫流せ万語
…(日本)…

ことしも国体が神奈川県で華々しく開かれ、老若男女の血を沸かしていますが、ヨセ子夫人はユーウツでなりません。と申しますのは、古武道にことが報じられると、槍術に心酔している夫の槍平氏、国体がはじまると槍術試合を壮年の部の課目に入れるべしという運動をはじめるからです。それどころかいざ実現の暁、敵に"の"とヨセ子夫人が心配するおくれを取っては名折れだと『うん、槍術試合は六十才鍛錬に励むわけですが、それ以上の課目にするよう運動すがなんと夜の床の中。『これることとしよう』でワシはまだ元気があるかどかを試めすんだ』というのですからヨセ子夫人はたまりません。さていよいよ国体も最高潮になり新記録が続出し、槍平氏も『ここでがんばらにゃ』とばかり張り切りましたが、途中ガックリと元気がなくなりました。『あなた、どうなさった…』

モダン歳人記
孔子様と論御

中国の周王二十一年十一月四日に孔子様が生れた。名は丘、字は仲尼といった。この孔子様の言行録『論語』が後代四書五経の筆頭となって東洋道徳のお手本になった。男女七才にして席を同うせずなんていう堅っ苦しいことはみんなこの教えからでたことで、いまどきの人には余り縁もあるまい。

ところがそういうものを野次ってみたくなる奴がいるもので、天保年間に『論語』に倣って『論御』という戯文を作ったものがいる。『御』とは男が女を御す意味であるから、一字違いで『論御』はとんでもない内容ともなるわけだ。論語では『公門に入るときは鞠躬如たり、容れられざる如し』とあるのを『肛門に』と一字だけ違えると、意味もすっかり変ってくる。これに『朱翁集註』ならぬ『手戯膝中』がついていて『肛門ハ…狭シ』云々と註されている。『君子は紺緅(かくする)を以て飾とせず』とあるのは『君子は姦通を以て善とせず』となる。『肉多しといえども食の気に勝たしめず、唯酒は量し、乱に及ばず』などは『論語』のままで註だけが変えてあるのだ。（鮭）

新刊紹介
◇=新刊紹介=◇

◇孤独の青春・高校生の心理(宇野一)著者は高校教諭、都高校教育研究協議会委員長として青年期教育につき多年にわたり研究してきた人。いわゆる十代の危機に立つ高校生たちについて性格、生理、知能、感情、心理などの問題を精密な統計資料と記録を用いながら鋭く観察している。(B6二二〇頁、一八〇円、学風書院)

あすの運勢
=十一月四日=　高島象山

▲一月生―大勢は有利に至る思う処に進出して成功あり開業結婚吉
▲二月生―物事に信念を失し浮薄に流れ或は軽挙妄動して失敗あり
▲三月生―保守的に自己の業を守れば無難なるも気迷は損の元なり
▲四月生―特に活躍し進展の日なり積極的活動せよ開業移転結婚吉
▲五月生―物事目先きに迷い大計を誤る性急短慮は身を亡すに至る
▲六月生―周囲から無理難題が起り神経をやむ社交外交は慎重なれ
▲七月生―情宜を守り緊張して事に当れば苦労は去って幸福来る也
▲八月生―内外融和を欠き物事乱れ易く破れ易い慎重に進退すべし
▲九月生―何事も他動的災いあり易い多情多恨身を挑く苦悶有易い
▲十月生―何事も至極順調に内外融和し安楽に進展する開業結婚吉
▲十一月生―思想上反感を招来し易い謙遜の美徳で消極的進退よし
▲十二月生―不意に変化が起り自然的の災禍を蒙り易い外出は注意

東海毒婦伝
青とかげ
野沢純　土端一美画　(118)

江戸の八巻(十一)

報恩寺横丁の『ごろんぼ屋敷』へのりこんだばっかりに、百両からの大金を手にして、まず喜んだのは、しぐれの半次だ。濡れ手に粟か、タナボタか。盆と正月が一ぺんに来たようだ――とは、こんな時の気持だろう。

しかも、お直姐御の、猟籠のお供をしたくらいのことで、ころがり込んだ百両金である。いかに芝居の筋書きの、ゆすりの二番狂言は、自分の手で仕組んだとはいえ、時の相場の百両といえば、市村座の座付作者の黙阿弥師匠でさえ、めったに手にしたこともない額だ。

百両金になったのも、キッカケはしぐれの半次の入れ知恵と、叔母のお直の啖呵(たんか)のおかげ――と思えば、あんまり文句もいえたギリではない。

とどは、貰った山吹色の、小判を褒め褒め、ひきさがって来た与次郎である。

もともとが、あんまり執念ぶかいタチでもない。ところへもってきて、五両の金を吉原で、たった一と晩で使い果してしまったあげく、ころがり込んで来た百両ではある。

物はほどほど、考えようだ。またなくなったら、ゆすりに出かける手だてもある。



『ありがてえね。山吹色はいつ見てもいいや。ちゅう、ちゅう、たこ、かいな――と』

ふところの、胸から両手を覗かせながら、柄の悪い格好で、ペロリと一枚舌にのせ、口の中へ放り込み、ビーンとはじいてみて、

『ほんものだァ』

改めてニンマリ笑うと、

『ちんけに、二ぞう。さんずん四つや。五封六法、七けん、おいちょのカブときたね』

一両小判を一枚ずつ、百回数えて悦に入っている。

ひきかえて、はじめからたんと嬉しそうな顔もしていないのは、ちょろけんの与次郎だ。

なぜといって、数万金の押入強盗の片棒を担いだ報酬としては、(百両くれえじゃァ、くい足りねえ)

といいたいところ。

しかも番頭島蔵が、尾張屋の床下へ埋めて置いておいたせっかくの二千両さえ、焼跡から掘り出したとたん、油アゲをトンビにさらわれたように、西屋万兵衛に押えられてしまっている。

与次郎にしてみれば、

『ちえっ!』

といい度いところである。

(くそ、面白くもねえ!)

だが考えてみれば、おとといの一人で出かけた時は、たった五両で追っぱらわれた。

それに、叔母のお直が、ああして『ごろんぼ屋敷』に、とぐろをまいている以上、金づるは、すでに掴んでいるも同然。そこで、

『どうだえ半次、これからトロゲン(吉原)へ繰り出そうじゃァねえか』

となったのだ。

『トロゲンはいいな。北か南か?』

『きまってらァな。今さら小格子で、ナマズッペエような安女郎が抱けるかよ。しみったれずに、マガキといこうぜ。マガキもマガキ、大マガキで、新造やカムロ付きのおいらんを挙げるとしようぜ』

『よしたがいいぜ。あんまり金使いがあれえと、ひょんなとこから、怪しまれるぜ。叔母貴もそういってたろう。足のつくような遊び方はするなとよう。まったくだ。どのみち、こちとら、叩いてまんざら、ホコリの出ねえ体じゃァねえからなァ。それより与っちゃん――ざっくりと金が入ったのをしおに、江戸からしばらく草鞋を履くとしようじゃねえか。たんまりと、銭を持っての上方見物も悪かァねえぜ』

『それもそうだが、旅に出るならなおさらのこと。気を抜いて、身を軽くするためにも、江戸に名残りの一夜くれえは、吉原で明かすとしようぜ、でえ一、悪血のハケ場がねえや――』

愉しめるバーテンの腕
本格調をゆく『新橋トリスバー』

『バーのよし悪しはひとえにバーテンの人物如何にかかっている。女給なんてものは、バーに関する限り、いりもしないのに珈琲について来るクリームのようなものだ。スタンドの向うのバーテンが酒のことをよく心得えた一種の人物なら、飲ませるものに間違いあるまい』と書いているのは、その道の達人英文学者吉田健一氏だ。

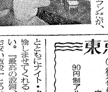
たしかにその通りで、バーにいくのに都合が悪い。だからバーのよさを決定するのは第一にバーテン、第二に酒、第三に雰囲気である。

女性がいるとほんとのバー通は、いやがる。第一恋人をつれて行ないだろう。そうしたバーの本格調をゆく店が、新橋西口、野外ステージ裏楽通りの『新橋トリスバー』である。ストレート40円、ハイボール50円。同じマンハッタンでも、一味違う。

その上値段が安ければ申し分

パリのバーのシャレた雰囲気
バー・シロー

パリのシャンゼリゼ通りにでもありそうなシャレた『バー・シロー』が浅草メトロ通りに開店した。マネージャーは欧州航路の客船で腕をみがいたベテランだが、長い海外生活を生かしての経営だから、そのふんいきは欧米一流のバーと比べても負けないものだ。そのうえチーフバーテンは、プロ級の手品の名手。花を添える女性とともにナイト・クラブの気分も愉しませてくれるというからすごい。『最高の設備、美しい女性、お安い値段』とうたうだけあって何から何まで日本離れのしたバーといえよう。常連に一流人が多いのも、こんな魅力のせいだろうか。S長官、F社長、森雅之や三浦洸一氏の顔などもよく見える。


【写真はバー・シローの内部】

下町を代表する本格喫茶店
人形町・マリモ

下町一の喫茶店、といえば誰でも『マリモ』という。人形町松竹裏通り芳町小路に、古くから人気のあった店だ。

設備のよさは、喫茶店ブームの波に乗ってあわてて開店したそこらの店とは問題にならぬ。例えばボックス一つにしても安物のビニール張りなどとは違って、柔かいクッションに、手ざわりのよいビロード張りだ。壁にかかる装飾のセンスのよさ、そして最近新設したスペシャルルームなど、何一つとして難のつけようはない喫茶店だが……。

とりわけ人気のあるのは珈琲とスペシャルジュースの味だろう。よく研究されていて、味にうるさい下町ッ子の味覚をタンノウさせている。場所柄、粋筋のキレイドコロがチラホラして、それだけでも充分愉しい。

家族づれで愉しむ
新宿・雛忠の雛丸焼

たまには奥さんや子供づれで、外で食事をしたいと願うのは、主人の方よりむしろ奥方だろう。しかし、うっかり引受けて、レストランなどへ連れ込もうものなら、眼の玉の飛び出るほど金を請求されて泡を食う結果になる。第一レストランでは肩が凝るし、カン酒一本チビリとやる愉しみはない。

こんなとき利用して一番利用し甲斐のあるのが、新宿高野フルーツ前レンガ通りの『雛忠』だ。雛丸焼(50匁一三〇円)と串焼(一本一〇円)が有名だが、その他丼ものや一品料理もあって酒は一本五〇円。一階、半地下のテーブルのほか、二階には数寄屋造りの小座敷が幾つもある。家族みんなで満腹してもレストランの定食一人前ぐらいの値段ですむ。



私は犯人にさせられた！

ネコイラズ殺人未遂事件に再審運動起す

博士群が後だて "筋が通らぬ"と結論

獄窓に一年余 悲願の主、木下さん

ネコイラズ殺人未遂事件の犯人として二十八年最高裁判所で懲役一年半の判決をうけ大分刑務所に服役した人が、昨秋出所以来『私は全くデッチあげの罪で服役させられた』と犯人に仕立てられた実情につき、公判記録など判決をくつがえすような資料を持って刑法の権威者を歴訪、その後援で再審要求の悲願運動をつづけている。折から東京地裁が殺人罪被告の時効中断を誤ったり、警視庁が銀座雑貨商殺し、玉川中国人留学生殺し事件で"人違い犯人"を逮捕するなど当局の黒星が続いている時だけに、この事件の取扱いについてもその成行きが注目されている。


無実の罪だと語る木下さん

問題の人は大分県日田市大字南豆田字三本松元福岡相互銀行日田支店外務員木下延治さん(四三)で、ことの起りはこうだ。木下さんはさる二十三年七月、十月末までの契約で当時日田駅貨物係をしていた小野覚さん(三〇)妻さつきさん(三五)夫婦に自宅六畳三間のうち一間を無償で貸した。ところが小野さんは約束の日が来ても部屋を明けないばかりか隣家の土地の顔役、人夫高倉正美さん(三〇)や矢野某、鳥津某らを連れてきて木下さんを脅し、契約書を強奪した上、木下さんに暴行を加え七日間の打撲傷を与えそのまま木下さん宅へ居直ってしまった。

年が明けて一月三十日高倉さんの妻たつ子さん(三〇)が炊いた夕飯の中にネコイラズが混入していたことから木下さんに疑いがかかり、同二月二日木下さんは当時の日田署=六角丸一署長=に殺人未遂容疑で逮捕され、司法主任関定警部補係りで取調をうけた。その後木下さんは四十八時間を経過しても検事の調べを受けることなく同署に留置され、十三日目に大分地検日田支部検察事務官佐藤徹一氏の取調べがあって同月十四日釈放された。

木下さんは小野、高倉さんらを強盗犯人として日田署に告訴した。ところが釈放されてから十ヵ月後の十二月五日、木下さんは大分地検から呼出しをうけ高倉さんの殺人未遂事件容疑者として再逮捕されてしまった。

契約書の強奪事件に関する事情も聞いて貰えるのかと思った木下さんは事の意外さに驚ろいたが、もう後の祭で、二十七年一月大分地方裁判所仲裁判長係で一年半の懲役の判決をうけ、ただちに福岡高裁に控訴したが同じ判決内容となり、さらに最高裁に上告したが『上告理由なし』として二十八年七月最高裁第一小法廷斎藤裁判長係りで上告棄却の判決があり、大分刑務所で服役、昨年九月三十日未決通算と恩赦で実刑一年一ヵ月をつとめて出所した。

木下さんはこれを不服としてただちに最高裁から判決要旨、大分地裁から公判記録、九大医学部からネコイラズの鑑定書をとりよせ、これを立命館大学法学部教授佐伯千仭博士ら刑法の権威者約三十数博士に持回ったところ、木下さんの事件について警察、地検、裁判所にそれぞれ筋の通らない点があるとして再審は絶対必要という結論に到達したという。

佐伯博士らの指摘している点は❶事件当日木下さんは朝九時から夕方五時まで日田市グラウンドで弓を引いており、夜まで自宅へ帰らず、隣家の高倉さん宅へは当然行けない❷夕飯を炊いた高倉さんの妻タツ子さんは、米を米ビツから出して炊き終るまでそばからはなれなかったから、外部から来て入れることはないと証言している❸関主任は第一回目に木下さんを逮捕した際、刑事訴訟法を無視して四十八時間以内に送検せず、十三日間も留置場へ入れたままにした❹九大医学部法医学教室北条春光教授、同城哲男助教授が高倉さん宅の夕飯から検出したネコイラズの量は十三・八グラムから二十三グラムで、警察が作った調査には約三十グラムとあり警察の調書が出たらめである。また家宅捜索の際木下さん宅から出たネコイラズが三グラム余り使用してあったが、日田市にはネズミが多く、市からネコイラズの配給があったので、どこの家にもあり、ネコイラズがあったことが殺人と必ずしも関係ない❺地検検事調書に取調べ検事の署名と捺印がない❻十四回公判で、木下さんからとりあげた契約書は大分地裁日田支部深谷判事が焼却したと小野覚さんが奇怪なことを証言している❼調書のすべては日田署でデッチあげられたもので、木下さんに老母があるところから、署名すれば出してやると強要され、また冬だというのに足袋をとりあげられて間接的に拷問されたということである。

弁護人青柳盛雄氏談　これは初め部屋明渡しの民事問題だったのを、警察が感情的に不法に仕込んだ側に協力、力づくで木下さんをやっつけたものだ。警察はじめ、検察庁、裁判所ともに筋の通らぬ点があまりにも多い。当然原審差戻しと思っていたら意外だった。有力な後援もあるので、再審を確信している。

兄を刺し血刀さげて 仲間と果し合い

墨田で三少年が重傷

三日の文化の日墨田区で三少年が短刀で渡り合い、三人とも大怪我をするという血腥さい刃傷事件がおこった。三日午前一時十五分ごろ墨田区向島三の五牛乳販売業鬼塚午四さん(五三)方で午四さんの次男義男(一九)=仮名=と三男高一(一七)=仮名=が不良仲間の付き合いのことから兄弟喧嘩となり、高一は身につけていた刃渡り四寸の短刀で義男君の下腹を幅約十センチ切り裂きひん死の重傷を負わせ、高一はさらにそのあとで不良の溜り場となっている同区寺島一の一二五お好焼屋『峰村』を訪れ同店にいた同区業平橋二の六無職少年久原某(一八)=仮名=に『兄貴を悪くしたのは貴様だ、表へ出ろ』と店外に連れ出し互いに短刀で渡り合い二人とも頭、胸など数ヵ所に全治三週間の傷を負い、三人とも近くの浮島病院に収容された。本所署では三人の傷がなおるのを待って傷害容疑と銃砲刀剣等所持禁止令違反容疑で逮捕、取調べるといっている。

なお寺島付近は不良少年が多くこれまでも傷害事件がたびたび発生しており、同署では隣接各署に協力、不良少年の徹底的補導を行うといっている。

畑に連れ込み脅す

村山に痴漢、騒がれ逃走

二日夜九時半ごろ都下北多摩郡村山町三ツ木残堀街道一本榎下で、帰宅途中の同町一八一五事務員栗原喜美代さん(二四)は自転車に乗ってきた二十三、四才、五尺三、四寸ホームスパンの上着と黒色ズボンをはいた男に呼びとめられ畑の中に連込まれ、ナイフ様のもので脅されたので現金五千余円を出すと『そんなものはいらない。お前の体がほしい』と暴行しようとしたので、栗原さんが騒いだため賊は目的を果さず逃走したと立川署に届出た。同署で痴漢の仕業とみて捜査中。

千鳥ヶ淵公園に"自由の群像"

きょう除幕式　新聞界の功労者を顕彰

三日午前十一時から千代田区半蔵門千鳥ケ淵公園内で新聞界の功労者を顕彰する記念像『自由の群像』除幕式が新聞関係者など百余名が参列の下に行われた。故柳河春三中外新聞社長ら二十名の功労者を顕彰したもので、新聞の精神であ[illegible]

【写真は除幕式】



文化の日

繰展ぐ多彩な行事



きょう三日『文化の日』皇居では午前十一時から平沼亮三氏ら六氏の文化勲章授賞式が行われたのをはじめ全国各地で菊花香るこの日を記念して多彩な行事がくりひろげられた。

午前九時には文部省で松村文相から宮城県雄勝町公民館など優良公民館九、準優良公民館十三の館長さんたちが表彰され、午後には皇居で天皇陛下の御会釈をいただいた。

一万東京歌舞伎座ではこの日を中心に各地で催されている芸術祭の『式典』が午前十時半から行われた。松村文相、高橋芸術院長のあいさつなどあって芸術祭当選脚本『辺城の人』の作者韮山圭介氏(本名清水淦蔵、大田区堤方町七一四)に賞状と賞金三万円が渡された。また北海道留萠市坪田キヨノさんら四十七人の全国優良母子家庭の表彰も午後零時半から東京都千代田区有楽町の第一生命相互ビルで行われた。また午後一時からは首相官邸で千代田区消防士三浦義衛氏ら百五人、八団体の善行都民表彰式が行われた。

教育園、博物館の四つの国立文化施設は無料公開、日展は割引公開、代々木の杜は明治神宮祭でごった返す人出にぎわい、地方でも奈良と京都の国立博物館が無料で公開され、それぞれ特別展や映画の上映などもあって日ごろ生活に追われる庶民にちょっぴり"文化国家的気分"を味あわせた。

【写真は人出で賑わう明治神宮】

ふく穴



狙われた"おメカケ族"

今どきお妾サンの存在価値など論じてもはじまらないが、この二、三日相ついでお妾サン族をおびやかすような事件がおきている。この事件が二つとも偶然に父親の子供たちが直接的間接的にからんでいるので、単に興味本位だけでは片づけられないものがあるようだ。事件を追ったサツ記者のメモによると話はこうだ。

◇一つはさる二十八日夜杉並区阿佐ケ谷の人妻を刺し、さきに麻布署に捕まった四人の高校生のグループで、この連中はいずれも良家の次、三男ばかり、その一人N(一七)の家庭はやはり父親が妾を囲っているため風波が絶えず、ぐれだし、不良仲間と相談して強盗を思いたつまで転落した。ところがNは子供心にも憎いのは妾だとばかりお妾専門の強盗を計画、学校の帰りに小じんまりとしたあまり人の気のないお妾らしい家を物色、阿佐ケ谷の目ぼしをつけた家に押入ったが、これはお妾の家とは見当違いで失敗。Nは捕ってからも『お妾の家は大体男がくるのは夜遅いし、夕方は女一人でいるにきまっているから狙い易い。お妾の住む家も色々と研究していたのに……』ともらすほど十七才の少年とは思えない悪玉ぶりだったが、これもお妾が生んだ悲劇の一つだ。

◇また既報された安藤慶子さん誘拐事件も同じようなケース。きのう事件が発生したとき記者は逸早く子供による犯行の線をだして追っていたが、その通りとなった。この安藤さんがはじめはこの子供の家庭教師で住み込んだというから子供心にもショックが強かったわけ。捨てられた母親の復しゅうが子供によってあらわれた恐しいケース。『妻は夫の普段着だ』などとアンカンとしているお妾さんも、これじゃあまりヌクヌクとしてばかりおれない。

◇もう一つ、これは女ができた夫に捨てられた妻子の話。さきに本所署にスリ現行犯で検挙された成川梅子(三)だが、これまで捕まる度に乳飲み子を連れているため、同情されて釈放されていたがいつの間にかこれに味をしめて留置場に入ると子供をわざと泣かせるという戦法にでた。これには係官もそう同情釈放はまかりならぬと送検の腹をすえたという。(黒)

無軌道親父への抗議

"家庭の破壊者！"と恨み骨ずい

慶子さん拉致事件の内幕

=既報=恐怖の二十四時間を無事救われた安藤慶子さん(二)はかん禁された葛飾区上平井町四七五の吉江勝士さんのアパートから代々木署に保護され事件は一応解決した。そしてこの誘拐事件に躍った慶子さんの愛人新炭商志賀泰蔵さん(四)の長男Y(一七)と母親はが共犯として代々木署に逮捕されいま取調を受けているが(赤羽の不良久保光(二五)外五名は未検挙)犯行の動機には家庭を捨てた無軌道な、父親と、そのために不良となった長男、飲み屋まで出て働かなければならない犯人の母親などなにか映画物語にでも出そうな複雑な家庭の事情がひそまれていた。

まずこの事件について足立代々木署長は『まだ調べてみなければ共犯者は判らないが、調べの範囲外そして事件の最終責任は母親や長男ではないようだ―』と暗い父親の志賀泰蔵さんや慶子さんのとかくの行動へ責任の一端をほのめかしている。

慶子さんは岩手県九戸郡種市町の出身で高校卒業後一の関市の会社に勤めていた。そこへ一昨年商用で訪ずれてきた志賀さんと知り合い、都会にあこがれていた慶子さんは『東京へ連れていって』と志賀さんに頼んだ。丁度長男のYが高校へ入学試験準備中であり、二男、三男もおり『それでは家へきて家庭教師をしてくれんか？』と話はまとまった。そして昨年暮同家に住み込んだが慶子さんと志賀さんの関係は主人と家庭教師の域を越え深まった。

このためいままで平和だった同家は風波がたえず、泰蔵さんはこの春口論の結果妻と四人の子供を残して家出し慶子さんもそのあとを追うように同家から姿を消した。

一家の支柱をうしなったはるは売掛金などで暮していたが思わしくなく文京区内の飲屋に働くようになった。こうした一家のゴタゴタに感受性の強い年頃だった長男のY(一七)は高等学校なんかに行ってられないと北区都立某高校を一年で退学し、ブラブラしているうちに赤羽、王子の不良とうきあうようになった。こうした一家にひきかえ慶子さんは泰蔵さんの援助によって渋谷区西ケ原九六九のアパートに囲われ、部屋にはテレビ、電気冷蔵庫など豪華な生活用具がつぎつぎと備えられ、あまつさえ生花など習いにゆき時折志賀さんと手をとり合って熱海、箱根など温泉旅行に日を送っていた。

『家庭を破壊し、父をうばった憎い女』と不良となった長男はいきどおり、母親と相談、仲間の不良を誘ってこの事件を起したもので、代々木署では慶子さんが無事だったので今後よく事情をきくといっている。

中山競馬五日目成績◇第一サ三新馬(千百)❶クインメイジ(岩下)1分7秒1❷ヘキラク❸トキワミドリ(単)430円(複)100円100円120円(連)❶―❻450円◇第二サ(千)❶マイウエイ(高橋英)1分1秒3❷ホウエイ❸ケンセイ(単)120円(複)120円190円(連)❻―❻290円◇第三ア(千)❶レン(竹部)1分4秒4❷キシオウ❸ヒハヤ(単)230円(複)160円910円(連)❸―❺9590円(重)❶―❼―❸3100円◇第四ア千七百❶ハナフサ(古野)1分51秒3❷クラフト❸トップシン(単)1080円(複)280円120円130円(連)❶―❸5700円

洋裁生を監禁、暴行

運転手ぐるみ拉致 荏原で不良二名逮捕


林伸正

ドレスメーカー女学院の学生二人を働いた二人組の不良が現行犯で荏原署に逮捕された。二日午後十時十分ごろ荏原署に品川区小山一の四二八市村アパート経営者市村四郎さん(三四)が『いま女二人が二階五号室で監禁されている』と急報したので同署員が駈けつけ女二人を救いだし、同室にいた豊島区西巣鴨二の二〇八六前科三犯林伸正(三)品川区東品川三朝鮮人無職少年(一八)を不法監禁婦女暴行現行犯で逮捕した。調べによると女は都下北多摩郡小金井町ドレスメーカー女学院一年A子さん(二〇)武蔵野市吉祥寺同B子さん(一九)で、一日夜学校の帰途国電品川駅前のダンス・ホール『パラマウント』で踊っていて、林らと知り合い同十一時ごろ帰ろうとすると林らが嫌がる二人をタクシーに押し込め、運転手に助けを求めると運転手をおどしながら市村アパートに連れ込んだ。

その後二人で騒ぐと殺すぞと両女をおどし暴行を加えたもの。この間お食事の支度をしろと林がA子さんを台所に連れていった際、隙をみたA子さんが市村さんに助けを求めたので検挙となったもの。なお林は昨年十一月中旬から同アパートを一人で借り、自分ではキャバレーのバンドマンの紹介業をしているといっているが、同アパートには余り顔をだすことなく、泊るときは女を連れてくるので、同様犯罪が相当あるものと追及中。

独眼灯



○…ちかごろヌキヌキお色気を増し、年増美では当代一といわれる映画女優月丘夢路さん=大田区雪ケ谷町七三=にひと目だけでもあいたいと、一年間月丘さんの家に通いつめたり、ラヴレターを出していた男が二日午後東調布署に保護された。

○…男は千葉県長生郡長南町大字今泉農業石川和一さん(二七)で、昨年秋ごろ月丘さん出演の『伝七捕物帖』を見てその艶麗な容姿にゾッコンほれこんでしまった。以来ことしの一月から千葉―渋谷間の定期券を買ってまで通い続け、その間直接手紙を届けること百十数回、面会を申込むこと三十数回、その都度家人に断わられ、きのうも相変らず訪れたところをあまりのしつっこさに月丘さんの家人が同署に連絡、保護されたもの。

○…『映画に出てくる月丘さんのあのうるんだ眼がたまらない。一生に一日でも生活をともにしたいと考えました。妻子ある私にはやはり高嶺の花でした』と、うす汚れた背広姿の石川さん、涙ぐみつつ語っていた。

◇お断り『ミナト・ヨコハマ』本日休載します。

赤坂の朝火事

三日午前九時ごろ港区赤坂新坂町六七富士デベロップメント会社=取締役大石茂樹氏(五九)=方一階重油ストーヴ室から出火、同木造モルタル二階建一棟百五十坪を全焼して同十一時半鎮火した。赤坂署の調べではストーヴの過熱によるもの。

あすのスポーツ

△東都大学リーグ　中対日、学習院対駒（十一時半、神宮）△レスリング　東日本学生王座決定戦（十時、青山）△ボクシング　大滝対篠山六回戦ほか（六時、山口ホール）△競馬　浦和

続 情炎の千代田城

岩崎栄　寺本忠雄画

(288)



春寒く（九）

初音はため息をつき、身ぶるいを圧しこらえている。

人間の格が、段ちがいなのだ。それに、感情の逸るまゝに、口外すべきでない重大なことを喋ってしまったという後悔が初音の立場を一そう弱いものにしている。

『おそれおおくも、神君このかた、万民人倫の鑑と仰ぎ奉る当将軍家にあって、上様の御血脈をうけさせられた御子さまを、お呪い申し上げるなどと、さようなおそろしく不謹慎なお言葉、初音殿！ あなたというお方は、葵の御紋の神聖を踏みにじって居られる。臣としてこの絵島、意外な言動は許しませぬぞ！』

『ゆるすとか、ゆるさぬとか、わたくしとても上様の家来、虎吉様御生母の侍女。お三のお部屋様あたりから、とかくのおさしずは心外千万、御重体の御枕辺近く、ザワザワと騒々しい。とっとゝお立ち去りなされっ』

初音が土俵際で、猛然とした反撃に出る。

『御重体重大と存じますゆえ、お見舞に参上致したものを、一応の礼儀もわきまえなされず、言語道断の御挨拶、お場所がら、あなたこそきっとおつゝしみなさるがよい』

『では、絵島殿』

初音は、うす気味わるいばかりに腰を落して立ち向った。敵に最後の一撃を与えようとする猛獣の構えみたいだ。

『なんでございます』

『昨年の春、こちら右近のお方さま、若君御懐胎のおめでたき御着帯祝いの宵に、お三のお部屋様からは、あなたをはじめ、どのような態度においでなされたか。よもやまだお忘れではございますまい』

あのとき、絵島は仮病をつかって、こちらの招宴を辞退したのであった。そして、配下の女中たち一同に、厳しく命じて、祝賀の催しには一人たりとも近寄らせなかったし、その上、左京の方から神仏へ呪いの調伏の相談をうけたりもしたのであった。調伏のことは『なりませぬ』と、一言のもとに烈しく拒否した絵島だったが—。

『いかが！ 絵島殿。こちらのおめでたを、そちらでお呪いになった、なによりの証拠ではございませぬかっ』

逆襲は功を奏したりと、初音は得をたたいて詰め寄るのだ。

『病気と偽りながら、あなたはあのとき、どこで何を、どうなされていたか、こちらはなにもかも悉く存じて居りました』

絵島が沈黙を破って、はじめて、ニコリと微笑した。美女が怒りの心頭に咲かせた凄いばかりの笑いなのだ。

『初音殿』

おもむろに、膝の脇から、持って来た風呂敷包みの物を引寄せながら、

『あの宵は、まことに失礼仕りました。もとより心中では、おめでたさも十分、お祝い申し上げておりましたなれど、俄の頭痛、風邪の気味にございました故、いささかなりとも、晴れてめでたき御席は遠慮致すが当然と存じたまでにござりまするが、しかし初音殿、お互いさま御同様、すまじきものは宮仕え。御用とおっしゃる上は、いささかの病気くらいに、ときおり休みも出来ませぬ仕儀。ときに、そのせつはまたこちらさまより、お三のお部屋様、鍋松様、またこのわたくしにまで、さまざまくさぐさのお贈物、まことにおそれ入りましてござります。そのおくだされ物、ここに密封して持参仕りました。お菓子にも、おさかなにも、決して、一箸たりとも手はつけて居りませぬ。ごらんなされませ、このとおりにござります』

アメリカ映画に出演？ 渡米中のナンシー梅木

原作者から懇望される

日本人のジャズ歌手としては、さきに少女シンガー沢村みつ子が米メトロ映画『ラスヴェガスで会いましょう』『キスメット』に特別出演して話題をまいたが、こんどは目下渡米中のナンシー梅木（本名梅木みよし）に映画出演の話が起り、関係者を驚かせたり喜ばせたりしている。

話というのはこうだ。彼女はさきにハリウッドの近くにある一流のサパー・クラブ『ラリー・ポターズ』に出演していたが、この間『日本から本格的なジャズ・シンガーが来た』とハリウッド人の眼をみはらせ、その美しいキモノ・スタイルとともに大いに評判になっていた。ところがその出演もあと二、三日で終るという日、彼女を訪れたのがアメリカの新進作家ジェームス・エドミストン氏であった。彼は在米の日系一世、二世を主題とした小説『ホーム・アゲイン』で一躍名をあげた小説家で、ナンシーの舞台を見ると直ぐ楽屋を訪問、この東洋の歌姫に心からの讃辞を贈るとともに、近く映画化されることになっていた同氏の作品に是非出演してくれるよう申し込んだ。



ハワイの海岸で……ナンシー梅木

一方、彼は早速東京にいるナンシー梅木の母親しいさんにも手紙を出して、出演懇請と最大級の賛讃の言葉を書き連ねた。その手紙によると『同映画の監督もプロデューサーも彼女をひと目みてすっかりほれこみ、彼女こそわれわれの探し求めていた女性だと大変な気の入れ方です。われわれがまだ聞いたこともない素晴しい声、そしてナンともいえぬ可愛らしい顔。会う人々がチャームされる彼女のレディぶり、そのすばらしいミヨシ・ウメキを送ってくれた日本に、アメリカ全市民からお礼をいいたい』等々。

これだけ褒められたのはナンシー梅木がおそらくはじめてだが、この映画出演が実現すれば、これで二人目の邦人ジャズ・シンガーのハリウッド映画出演となるわけ。なお同映画のキャストはまだ発表されていないが、彼女もこの撮影を終り次第、事情と時間の許す限り諸所方々を見学して歩きたいといっているので、当初十一月中旬ごろに予定されていた帰国時期もどうやら来年あたりに持越されるだろうとみられている。

新人山脈

美波夏子（ショウ）



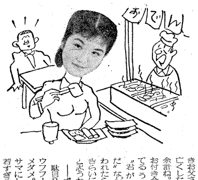
▽…大阪南街ミュージックホールが開場したのが今年の四月。その開場に当ってミス・南街に選ばれたのがこの美波夏子である。元緑ケ丘音楽舞踊学校で、富田秋恵とともに幾つかのショウの主役をつとめた田村夏津子であるといったら『ああ、あの子か』とご存知の向きも少なくなかろうが、その直前、池袋の演芸場で『ヤング・ミュージカルス』の旗挙げに参加したところをスカウトにマークされた。

▽…昭和九年東京は浅草生れというからまだ二十と一才、関口長世、松山樹子などに踊りを習っている『クラシックはいやなんです。古典のテクニックだけ入れたモダン・バレエをやってみたいんです』と希望は大きい。現住所＝大阪市住吉区長峡町五九、西岡方。

お好みアンケート

藤田佳子の巻

おでん屋へもちょいちょい



—食欲の秋でいくらか肥ったかね

アラ、意地悪ネ、そんなに増えてはいませんよォだ。

—何が楽しい？

ウフッ、やっぱり食べることかな。食べものに使うんならお金惜しくないわ。

—銀座なんかに出る？

ええ、本社に行ったりした帰りがけに市川（和子）さん、川上（康子）さんなんかと一緒にね。銀ブラしたら必ず食べるものが三つあるのよ。チョコレート・パフェでしょ。お茶漬でしょ。それからコーヒー。

—へえ、パフェが好きだなんて、あんなゴテゴテしたせったるいものがネェ……。

だっていろんなのが沢山つまってるから楽しいじゃない。

—新宿では？

おでん屋さんの行きつけがあんの……。

—あててみようか、西口のIだろ？

わァ、スゴイ、当った。

—何を注文する？

必ず食べるのはロール・キャベツとお豆腐なの。それから、ときにはスジだとか……。

—へえ、スジが好きだなんてなかなか通だネ。

ウフフウ、そうなの、どうもありがとう。きらいなのは白いハンペンよ。フガフガして噛み応えがないんですもの。

—ことしになって一番嬉しかったことは？

山口県からお母さんに来て貰って一緒に住めるようになったことね。もう冬の晩でも、冷え冷えとしたお部屋に帰って、キューピーを抱いてベソをかきながら寝なくてもすむんだもの。

—それから？

『浅草の鬼』で初めて主役をいただいたこと。

—洋画なんかも見てる？

ええ『フレンチ・カンカン』が一番楽しかった。

—ジャン・ギャバンみたいな男って好き？

ううん、それほどでもない。ロマンス・グレイの小父サマって感じじゃなかったけど、阪妻さんがとっても好きだった。でも小父サマ族っていいわ。私小さいときお父さんを亡くしたから余計ね。けどお付き合いしてるうちに〝君が好きだ〟なんていわれたら直ぐきらいになると思うわ。

—ボクは駄目？

ウフフー、ダメダメ。小父サマにしちゃ若すぎるし、恋人にしちゃ年が違いすぎるわ。帯に短かしタスキにゃ長しってとこかな、お気の毒サマ。

—何かたった一つ叶えさせて上げるっていわれたら？

お父さんが欲しいわ。お母さんのためにも……。

【次回は来週木曜日、楠トシエ】

私のコレクション ㉘

スプーン　藤原義江（オペラ）



海外遍歴の足跡

〝一都市一本〟に刻まれた思い出

（何）しろ忙しいご仁である。その中をともかくもこのケース一つ、鎌倉市旭ケ丘の自宅から赤坂氷川町藤原歌劇団に届いた。ケース以外にあるヤツを合せて全部で二百個ばかり。ということはこのスプーン、それぞれ一本につき欧米、近東、アフリカ、南米など、一つの都市につき一本であるからその盛んな足跡は推して知るべしというわけだ。『ボクなんかよりも沢田前国連大使なんかの方が沢山持っておられるようですな。こういうものを旅行者に売るようになったのは、沢田さんの話ではドイツが最初らしいということですよ。まあつまり、日本でいえば、東北で始まって、いまでは南九州の町でも土地名入りで売っているコケシみたいなもんでしょう』

（戦）前、指物師に注文して作らせたケースは鍵が紛失して、ぶっ壊さないかぎり蓋は開かない。なかに吊られた殆んどが銀製のスプーンども、ガラス牢に閉じ込められてついぞ陽の目を見せられない。かれらは日ごと夜ごとに、それぞれの故郷を想い、銀の肌から切ない小さな溜息を吐き続けたのだろう。それがガラスの内側に乳白色の曇りを作ったが、それと反比例するように、スプーンの肌はみんなクロずんでウス汚くなっている。溜息の跡（?）を透してよく見ると、七宝で月と星のトルコのマークを施した一つにはコンスタンチノープルの名が刻まれ、ルーレット盤が浮いた一つには柄の部分にモンテ・カルロと記されている。かと思うと大学の紋章がいかめしく彫られた下にはオックスフォード大学の銘が入っている。ブクレスティと読めるのは、いまはちょっと入国し難くなった東欧ルーマニアの首府ブカレストのことでもあろうか。パルテノン神殿の絵があるのはいわずと知れたギリシャのアテネだ。立派なビルが立ち並んだ鳥瞰図の都市はどこかと思えば南阿連邦のヨハネスブルグだが、このへんには、未開の暗黒大陸アフリカの田舎という一般欧米人の常識に対し、アフリカの新興都市らしい見栄が感じられて面白い。

（売）っているところは、土産もの屋やデパート、バザール（市場）など。しかしいいものは貴金属店に行か[illegible]

芝居みたまま

女剣劇から一歩前進？

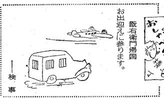
浅香光代（奥山劇場）の『残月の譜』

▽…『夫婦善哉』で果然話題をにぎわした浅香光代一座は、続いて芸術祭参加作品『残月の譜』四場（佐々木鷲作・演出）を演じている。これは珍しく三曲合奏による新舞踊を創出しようとする挙骨琳三（浅香）を主人公に、新しいものに対する古い世界からの圧迫、干渉、更にそれをも乗越えようとする芸術への情熱といったものをテーマとして、いわゆる女剣劇という呼び名から一歩前進しようとする意欲が感じられる一幕。お話の設定にはかなり無理な個所も見られるが、浅香の主人公をはじめ市川百之助、一条久江、小桜京子、中田舜堂、菊千鳥枝、三木孝思、若水清峰ら傍役陣もいつにない好演ぶりで、芸術祭参加に対する一座の熱意のほども偲ばれる。

▽…見せ場は、名人会に飛入りを熱願する琳三が、社務所前の雪中で憑かれたように踊るところ。それに大詰で無頼漢に脇腹を刺されながら、宿願の名人会の舞台で踊るところなど。浅香はややエロキューションに難があり、すぐきった見得を切りたがるくせがまだ抜けないが『夫婦善哉』同様体当り的な熱演は買っていい。台詞に『こと、ここに至っては…』とか『人格の冒瀆』とかナマの言葉が入っているのが気になった。十日まで。（橘）



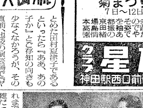
【写真は『残月の譜』の一場面 浅香（右）と小桜京子】



猷右衛門帰国 お出迎えに参ります。 ―検事

水原雪雄、春日富士松と漫才新コンビ

ショウ・ダンサーの露田光と軽演劇の村川速夫が漫才（万坊エイト[illegible]ス座で活躍していた水原雪雄が三味線の春日富士松と組んで漫才に転向した。水原は二十八才、春日雪雄を名乗ってギターを奏でるが富士松のこれまでの相手役がやはり同名の雪雄だったというのは不思議な因縁。富士松は三十三才、ここに三味線とギターの新漫才コンビが誕生したわけだが、呼び名を『冗談コンビ』にしようか『糸入りコンビ』にしようか目下研究中。

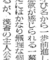


【写真は春日富士松（右）と雪雄】

募集 劇団演技座では次のように研究生を募集している。▽男女とも高校卒以上、年令を問わず▽返信用切手同封の上、履歴書、最近の手札写真及び『異性について』（八〇〇字以内）の短文を送付のこと▽締切二十日▽審査二十七日▽送付先、板橋区志村清水町二八一劇団演技座事務所。

名吟 都々逸

石井きんざ選



勝手な女と思っていよう 生れた時から筆無精　木場・猿谷三十越

いつもきまった勤めの電車 逢える娘に恋心　東蒲田・大塚高久

晴れて添えない二つの影が 選んで歩く暗い道　墨田・良坊

思い出になった女と二人で見てる 旅の水色空の色　長岡・鈴木六司仙

遅れてもさっと来る筈ひとりで 腕の時計と睨めっこ　向島・お駒

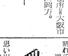
◇

よその女の贅沢なくて 貧乏暮しにゃ良い女房　選者

はと笛

▽…漫才研究会入り以来、大はりきりの橘エンジロと腹話術の木下ぼく児が、せんだって郡山へ巡業にいった。出発の日の昼ごろエンジロが切符を渡し『十五番線だよ』と念を押して上野駅で落合うことにきめた。

▽…ところが、その時間になってもぼく児はぜんぜん現われない。エンジロやむを得ず『行く先は判ってることだから…』と乗りこみ、二人で飲む筈だったウィスキーをちびちびやりながら郡山へ着き、ホームを見回すとぼく児が寒そうにしょんぼり。ワケをきいたら『十五番線を十時五十分と早呑みこみして一時間早くきちゃった』は、とんだソコツの使者。



【写真は橘エンジロ】

今晩のラジオ 3日（木）

★NHK第1★ 590KC
- 00 『あなたは花を見ている』 保坂弥生
- 40 スポーツだより
- 00 ニュース◇天気予報
- 30 秋の祭典《芸術祭参加》 松島詩子 奈良光枝他
- 15 懸賞入選放送劇『かまきり』《芸術祭参加》高藤子彰作 山田清 綱島初子 加藤道子 七尾伶子他

★NHK第2★ 690KC
- 05 英語会話 松本亨
- 30 受信機講座 市原嘉男
- 40 やさしい科学 桜井季雄
- 00 名曲鑑賞《歌劇・名アリア集》『道化師』他
- 30 友への手紙 篠田英介
- 00 ニュース
- 05 教養特集《移動講演会》『芸術の高踏性と大衆性』長谷川如是閑

★ラジオ東京★ 950KC
- 10 東西こぼれ話 高野アナ
- 15 コンサート 南十字星
- 25 秋のアルバム 松田トシ
- 10 録音ニュース
- 20 平岡養一の木琴独奏
- 30 ミュージックレストラン
- 00 劇『東京の青い鳥』森繁久弥 中村メイ子他
- 30 のんき裁判 榎本健一 三益愛子 白鳥みづえ他

★日本文化★ 1130KC
- 00 劇『少年宮本武蔵』
- 10 劇『平将門』高橋昌也他
- 25 LPヒット・パレード
- 00 録音ニュース
- 10 映画『ジャンケン娘より』
- 30 私は人気者 柳沢真一他
- 00 浪曲学校 司会三笑亭夢楽 大正みどり他
- 30 私と貴方の三つの歌 古川ロッパ トニー谷他

★ニッポン★ 1310KC
- 00 ポッポちゃん物語
- 15 日本調ヒット曲集
- 30 歌 松島詩子 白根一男
- 00 ラジオ夕刊（耳の新聞）
- 20 歌の祭典 春日八郎 白鳥みづえ 三橋美智也他
- 00 志ん生を聞く『人情話・文七元結』古今亭志ん生
- 30 ひばりは歌う 美空ひばり 柳沢真一 左ト全
- 00 声のスターコンテスト 中村鴈治郎 真弓田一夫
- 30 歌うエアー・ライン 霧島昇 フランキー堺他
- 00 劇『南無三宝』
- 15 歌 春日八郎 ローズ他
- 35 民謡めぐり『九州地方』
- 00 スポーツ・カレンダー
- 15 夢のリズム 詩と音楽

★KR★ ◆6・00『子供のくに』◆6・20 サザエさん◆7・00 藤沢嵐子ショ[illegible]画『船大工』◆7・50 東宝演芸場[illegible]・30 座談会『新聞に生きた人々』

ウイスキー無料進呈!! 女性好みの有楽町 ニッカバー

喫茶店はもう古いとばかり、若い女性ばかりが連れ立ってバーに入る傾向がある。もち論、女性だけで入っても、恥かしくない一級の設備やふん囲気をもつ店に限るようだが、その上値段が安くなければならぬとなれば、これはちょっとやそっとで出来る商売ではない。

しかし、有楽町ともなればさすがはミメウルワシキ女性の集える東京の中心地。駅中央口近くの朝日新聞社[illegible]

親和感溢れるバー 新宿東宝裏・かねだ

カクテルNO55という酒がある。新宿東宝裏、末広亭筋向いのバー『かねだ』の逸品だ。たった五〇円のカクテルだが、マンハッタンなどよりうまい。特に気が利いているのは、チャチなホルモン酒よりずっと精気にも富むということだろう。どうしても恋の成就しないタウンゼント大佐やマーガレット姫に一口飲ませてみたかった。あれ程の障害はない恋人同志なら一杯か二杯でトタンに平行線の恋も交叉するに至るという有難い酒である。

そのせいばかりではないだろうが『かねだ』は不思議にアベックの多いバーだ。クラシックな建築とその調度、カウンターのほかにボックスもあって、柔かい椅子は[illegible]

女中さんは芸達者揃い 芸者不要で愉しめる『三幸』

アチラ好みのハイカラ紳士には不向きかも知れないが、面倒臭せえ、コップで行こう型の江戸ッ子から、灘、秋田の生一本をチビリ[illegible]